

平成23年度 第6回仙北地域協議会 会議録

●日 時：平成24年1月17日（火）15：00～

●会 場：市役所仙北庁舎3階 大会議室

●出席委員（17名）

池田キミ 伊藤良子 戸澤龍悦 進藤勇吉 佐々木勝夫 佐々木忠雄
佐藤昇 佐藤力哉 原松男 今野順子 黒澤三郎 須田若子 池田武
伊藤まり子 千葉嗣助 池田佐喜男 進藤豊和

●欠席委員（1名）

大澤隆夫

●職 員

佐々木 ジョージ（仙北支所長）
高 橋 薫（市民サービス課長）
佐々木 博（農林建設課長）
小 松 徹（仙北公民館長）
伊 藤 明（農林建設課参事）
佐 藤 初 美（農林建設課参事）
須 田 和 久（市民サービス課参事）
伊 藤 隆 造（市民サービス課参事）
鈴 木 美奈子（市民サービス課主査）

1 開 会 市民サービス課 高橋課長

2 会長あいさつ 仙北地域協議会 会長 佐藤力哉

皆さん改めましてあけましておめでとうございます。今年も雪が多くて雪かきに毎日汗を掻いているところでございます。秋田県の建設交通部の部長に新年のご挨拶に伺ったところ、雪が無くなれば生活に困る人もいるだろうが、秋田県も除雪費が足りなくなったと言われました。「建設業界にとっては、空から金が下りてきているようなものです。」と言ったら、県としては大変なのでそういう表現は使わないでほしいと言われました。

我々秋田県の人間は雪が降ることには慣れておりますが、報道でも仙台市で3cm位降って、大変だったというように言われております。我々は雪を有効に利用すること、雪を克服すること、雪と親しむことの3つがあ

ってこれまで生きてきた気がします。ところで、今日は第6回の協議会です。案件2件ございますが、スムーズな会の進行にご協力お願いいたします。

3 支所長あいさつ 仙北支所 支所長 佐々木ジョージ

皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。今年も昨年同様積雪が多くなっております。今日の朝現在で95cmの積雪です。昨年度同期よりはちょっと少ないですが、油断ならない状況です。ちょっと古いデータですが、13日現在で雪害による事故は県内で71人が死傷しております。市内では9の方が怪我をしております。残念ながら仙北地域も一人軽傷ですが、お医者さんの方に運ばれております。これから雪の方も多くなると思われますので、雪下ろしの際は十分気を付けて作業を行ってくださいますようお願いいたします。

来年度の話で恐縮ですが、来年度の地域枠予算は645万6千円で73万3千円ほど多くして3月議会に上程される予定となっております。今年度は500万円を7地区で分配しましたが、来年度は1千万円を7地区で人口割で追加配分することにしたようです。仙北地域は平均的な額の配分となっております。これによりまして、皆さんからご審議していただく案件も増えてくると思われますので、新年度になりましてもよろしくご審議いただきたいと思ひます。今回の案件は2件となっておりますので、よろしくご審議いただきたいと思ひます。大変ご苦勞様です。

4 会議録署名委員の指名

○佐藤会長

会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は進藤豊和委員、千葉嗣助委員をお願いいたします。なお、今日の欠席委員は大澤隆夫委員となっております。

5 議 事

1) 地域枠予算について

NO. 20 仙北地域踊りと唄のフェスティバル事業

説明者 伊藤市民サービス課参事

○佐々木忠雄委員

踊り連盟は芸文協の1団体です。地域枠予算の活用について芸文協の理

事会のときに市民サービス課伊藤参事がわざわざ来て、説明してくれました。内容を深く理解した上での申請です。芸文協の仙北支部長としては認可していただきたくお願い申し上げます。

○千葉嗣助委員

先程事務局から説明ありましたが、基本的には原案に賛成です。いくらか私の意見を申し上げたいと思います。1つは平成18年度から大仙市の文化祭に老人クラブの女性部が大曲の市民会館で50名～60名位で踊りを発表しております。これが単発だとうまくないと思います。来年からは一斉に国民文化祭が始まります。現在構想の段階ですが、全県民が取り組まなければならないようです。出来れば、この事業と堀見内ささらも絡ませて伝統を受けついでももらいたいと思います。

○佐藤会長

単発でなく継続して行ってほしいというお話がありましたが、そのところを事務局が把握しておりますか。

○伊藤市民サービス課参事

踊り連盟では、毎年発表会があります。最低でも200名位は観覧者がいるそうです。その中で、「仙北小唄」「仙北音頭」を継続して実施していたという話でした。踊り連盟から地域枠予算を活用したいという相談をいただきましたが、会の行事の中に地域貢献をしていただかなければ地域枠予算は認められません。今回は「仙北小唄」「仙北音頭」を地域住民に知っていただき、懐かしんでほしいということを目玉にして実施することになっております。お知らせは仙北地域全戸配布のチラシで、踊り愛好家だけでなく御観覧いただきたいということです。

また、単発ではなく毎年継続していただくことも条件としておりますので、このことも併せてよろしく願いいたします。

○佐藤会長

堀見内ささらの活動はどのようになっているのでしょうか。

○千葉嗣助委員

私のいいたいことは、堀見内ささらも若い人が担い手として参加していないことや、今回の案件でも埋もれてしまいそうになると単発的に事業が行われますが、なんとか継続した形で傳承していくことを考えたほうがいいのではないかと思います。

○佐藤会長

今後、史跡の里委員会でも堀見内ささらや「仙北音頭」「仙北小唄」を取り入れて行けば毎年出来るようになるかもしれません。そのことを協議事項にして史跡の里委員会に掛けたいと思います。

○千葉嗣助委員

それから、歌詞がその当時の仙北村となっておりますのでそこもお考えいただきたいと思います。

○佐々木忠雄委員

堀見内ささらは、非常に高齢になってきたことや、若い人に仕事を休ませても実施するということが、難儀になってきたようです。というようなことを会長さんから伺っております。急に堀見内ささらをやらなければならなくなり、人手が足りなくてよその集落より人を借りたそうです。このように非常に深刻な事態となっているようです。彩夏せんぼくに出演していただきたいのですが、それもままならないというような状態です。

○佐藤会長

この件につきまして他にご意見等ございますか。

(無しの声あり)

それでは、この事業を承認してよろしいでしょうか。

【全員一致で異議なしの声あり】

2) 仙北地域公共交通について 説明者 伊藤市民サービス課参事

○佐藤会長

以前交通空白地域として上通り地区を挙げていただきました進藤豊和委員さんの意見を伺いたいと思います。

○進藤豊和委員

非常に良い路線だと思います。ただアンケートの結果だと思いますが、乗合タクシーの制度をまるっきり理解出来ていないと思われれます。もっと個別に説明すると利用者は増えるのではないかと思います。是非推進していただきたいと思います。

○佐々木勝夫委員

非常に良いことだと思います。ただ進藤豊和委員さんが言ったとおり、私自身もこの制度を理解しておりません。例えば500円の差額をどこで支払っているか。また、乗合タクシーを頼むとき前の日に依頼するのか方法がわかりません。

○伊藤市民サービス課参事

500円の差額という質問ですが、1回の運行は2,500円と決められております。1人乗ると500円乗車した人からもらいます。残り2,000円は市の負担となります。また2人一緒に乗ると500円ずつもらいますので、1,500円が市の負担となります。

2つ目の質問ですが、登録制になっておりまして、30分前にタクシー業者さんに直接電話して停留所を指名して待ってもらうことになります。帰りの予約は電話をしなくても、降りるときに運転手さんに依頼してもよろしいです。

○佐藤会長

試しにやってみたらどうでしょうか。ちなみに試行期間はありますか。

○伊藤市民サービス課参事

1年間の試行期間を経て、本運行になります。

○佐々木忠雄委員

この1枚のチラシですが、今までもありましたか。あつたとすれば、非常に良く出来ているので全戸配布した方がよいと思います。

○伊藤市民サービス課参事

このチラシは乗合タクシーに関係ある集落全戸に配布しております。他の地域では、登録している人に郵送しているところもあります。

○佐藤会長

事前登録する場合、期限を区切っていますか、随時登録できますか。

○伊藤市民サービス課参事

随時登録を受け付けております。また、登録は年齢に関らず、どなたでもできます。

○千葉嗣助委員

私も登録して時々利用したことがあります。利用してもらうためにはい

ろいろ工夫する必要があると思います。上野田線は乗る人が特定されていて、他はほとんど使われておらない状況です。乗合タクシーは停留所まで歩く距離があつて困っています。

○進藤勇吉委員

参考までに、上野田線、板見内線の市の負担額を教えてくださいたいと思います。

○伊藤市民サービス課参事

今年度はまだ途中なので、平成22年度の決算から板見内線は654人の利用者があつて、915,500円、上野田線は316人の利用者があつて、487,000円の市の負担となっております。

○佐藤会長

その他にまだ知りたいことがあるかと思いますが、地域協議会としてこのことを実施することに賛成したいと思います。皆さんいかがでしょうか。

【異議無しの声あり】

それではこの乗合タクシーの新路線を実現に向けて進めていっていただきたいと思います。

○伊藤市民サービス課参事

このことについて、仙北地域協議会よりご同意をいただいたということで、地域交通チーム会議並びに地域公共交通活性化再生協議会に提出して新路線確保に邁進して行きたいと思います。

6 そ の 他

○伊藤市民サービス課参事

地域枠予算については、残額294,457円となりました。今後申請が出て来ない場合は、彩夏せんぼくで使用しているレジャーテーブルセットが壊れていて、市民サービス課長名で申請したいと考えております。

また、購入となった場合は祭りだけでなく自治会、子ども会と広く貸出すことにしたいと思っております。

7 開 会

○佐藤会長

以上で第6回の地域協議会をこれで閉じますありがとうございました。

この会議の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

.....

仙北地域協議会署名委員

.....